

報告事項ウ

企画展「妖怪・幻獣づくし」の開催について

企画展「妖怪・幻獣づくし」の開催について、別紙のとおり報告します。

令和8年6月4日

鳥取県教育委員会教育長 足 羽 英 樹

企画展「妖怪・幻獣づくし」の開催について

令和8年6月4日
博 物 館

キャラクター化され人気を博する妖怪。時に痕跡が残され実在の動物に近い存在である幻獣。それらから日本人と自然とのかかわりの歴史を明らかにする企画展を実施します。

- 1 **会 期** 令和8年7月4日（土）から8月30日（日）まで（58日間）
〔休館日：7月6日（月）・3日（月）・21日（火）・27日（月）、
8月3日（月）・17日（月）・24日（月）〕
- 2 **会 場** 鳥取県立博物館 第1・第2特別展示室
- 3 **主 催** づくし展実行委員会（鳥取県立博物館、日本海テレビジョン放送株式会社）、
読売新聞社
- 4 **観覧料** 一般1,000円（前売・団体・800円）
（70歳以上、大学生以下、学校教育活動での引率者、障がいのある方・難病患者の方・要介護者等及びその介護者は無料）
- 5 **関連事業**
 - 7月4日（土）午前10時、午後2時
特別ギャラリートーク 香川雅信（兵庫県立歴史博物館学芸課長）
 - 8月9日（日）午後2時
特別講演会「日本の幻獣」湯本豪一（日本妖怪博物館三次もののけミュージアム
名誉館長）

<概要>

超人的な存在として畏れられた妖怪。現代ではUMA（未確認動物）と呼ばれることもある超自然的な生物とされる「幻獣」。絵巻など絵画資料、人魚・河童・雷獣ミイラなど妖怪・幻獣の遺物から日本人と自然とのかかわりの歴史を明らかにする企画展を実施します。

<主な見どころ>

第Ⅰ部 妖怪の自然史

古代から江戸時代に至る妖怪観の変遷を、自然とのかかわりの中でたどる。

- I-1 ヤマタノオロチからツチノコへ／I-2 狐と天狗／I-3 怪鳥たちの夜
- I-4 妖怪になった生き物たち／I-5 河童／I-6 変容する自然観と妖怪

第Ⅱ部 幻獣見聞録

実在と非在のあいだを揺れ動く幻の生き物「幻獣」を絵画、ミイラなどで紹介。

- II-1 怪遺物たち／II-2 予言獣／II-3 幻獣出現の記録

第Ⅲ部 柳田國男から水木しげるへ—現代妖怪文化の源流—

日本民俗学の父とされる妖怪を研究した柳田國男、妖怪たちに姿かたちを与え、キャラクターとして広く浸透させた漫画家の水木しげる。現代の妖怪観を作り上げた二人の功績について紹介。

妖怪・幻獣 つくし

企画展

話題の
『筑前化物絵巻』を
中国地方初公開!!!



2026 7.4 [sat] ▶ 8.30 [sun]

開館時間：午前9時～午後5時（入館は閉館の30分前まで）

※会期中の土曜日は午後7時まで延長開館

休館日：7/6, 7/13, 7/21, 7/27, 8/3, 8/17, 8/24

主催 づくし展実行委員会（鳥取県立博物館・日本海テレビ）・読売新聞社

特別協力 兵庫県立歴史博物館

協賛 NEX NIPPON EXPRESS モリックスジャパン 吉備総合電設

三和商事株式会社 TIC 鳥取県情報センター

税理士法人ゆう Totech Group 鳥取ビルコン株式会社

観覧料 一般：1,000円（前売・20名様以上の団体：800円）

※次の方は無料です。大学生以下、70歳以上、障がいのある方・難病
患者の方・要介護者等及びその介護者、学校教育活動での引率者

筑前化物絵巻（個人蔵／鞍手町歴史民俗博物館寄託）／蛸虫異形図（兵庫県立歴史博物館蔵 喜田文庫）



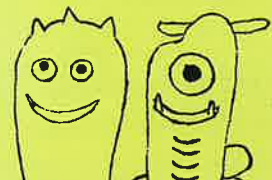
鳥取県立博物館
TOTTORI PREFECTURAL MUSEUM

〒680-0011 鳥取県鳥取市東町2丁目124
TEL 0857-26-8042 FAX 0857-26-8041
https://www.pref.tottori.lg.jp/museum/
E-mail hakubutsukan@pref.tottori.lg.jp

当館HP・SNS



Follow Us!



企画展

妖怪・幻獣

2026 7.4 [sat] ▶ 8.30 [sun]

話題の「筑前化物絵巻」を中国地方初公開!

現在はキャラクター化され、さまざまなエンターテインメントの題材として人気を博している日本の妖怪。しかしかつては、人間を超えた力を備えた存在として長らく恐怖と畏敬の対象となってきた。

それは、妖怪が人間にはコントロールできない自然の恐ろしさを具現化したものだったからである。山や海といった、人間たちが生活するテリトリーの外にある世界は、しばしば苛烈な災害をもたらし、多くの人命を奪ってきた。また自然は、一方では人々に恵みをもたらすものであったが、非常に気まぐれで、凶作や不漁によって人々の生死を左右することもあった。こうした自然の恐ろしさを形にしたものが妖怪であったが、そのイメージの源泉となった

は、自然のなかに生きるさまざまな生き物であった。

また、時に異様な姿かたちや超常的な性質を帯びた生き物が目撃され、その死骸や痕跡がまことしやかに人びとの目の前に開陳されることがある。現代ではUMA(未確認動物)と呼ばれることもある、これら超常的な生物を「幻獣」と呼ぶ。幻獣は、妖怪と実在の生物とのあいだを揺れ動きながら、この世界の限界を超えるものとして人びとを魅了する。

この展覧会では、妖怪や幻獣をとおして、日本人と自然とのかかわりの歴史を明らかにしていく。



オープニングギャラリートーク

日時 7月4日(土) ①10:00~11:30、②14:00~15:30

場所 当館特別展示室

講師 兵庫県立歴史博物館 学芸課長 香川雅信

特別講演会「日本の幻獣～不思議な生き物たち～」

日時 8月9日(日) 14:00~15:30

場所 当館講堂

講師 湯本豪一記念日本妖怪博物館(三次もののけミュージアム) 名誉館長 湯本豪一

クロージングギャラリートーク

日時 8月30日(日) ①10:00~11:30、②14:00~15:30

場所 当館特別展示室

講師 兵庫県立歴史博物館 学芸課長 香川雅信

たがれ 誰そ彼ギャラリートーク

日時 会期中土曜の延長開館日 17:00~18:30

場所 当館特別展示室

講師 当館学芸員等

※ギャラリートークへの参加には入館券が必要です。

鳥取県ミュージアム・ネットワーク連携事業 妖怪スタンプラリー

- 1 渡辺美術館「THE 妖AYAKASHI」7月18日(土)~8月30日(日)
- 2 わらべ館「妖しき奇しきものたち」7月4日(土)~8月26日(水)

関連イベント



交通のご案内

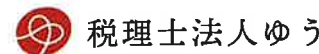
- ◎ JR鳥取駅からバスで
 - a. 100円バス[くる梨(緑コース)]で「①仁風閣・県立博物館前」下車すぐ
 - b. ループ麒麟獅子(土・日・祝日のみ)で「③鳥取城跡」下車すぐ
 - c. 砂丘・湖山、賀露方面行「西町」下車約400m
 - d. 市内回り岩倉、中河原方面行「わらべ館前」下車約600m
- ◎ JR鳥取駅からタクシーで…約10分
- ◎ 鳥取空港から…鳥取駅行連絡バスで「西町」下車約400m
- ◎ お車で…鳥取自動車道・鳥取ICより約15分
- ◎ 当館駐車場40台駐車可能 ※なるべく公共交通機関をご利用ください。

〒680-0011 鳥取市東町2丁目124
Tel.0857-26-8042 Fax.0857-26-8041
E-mail hakubutsukan@pref.tottori.lg.jp
https://www.pref.tottori.lg.jp/museum/

当館HP・SNSはこちら



日本通運株式会社 鳥取営業課
TEL.0857-28-0202



中国税理士会所属 代表税理士 下浦正臣

鳥取市元鳥町2-201 エステートビル4F
☎ 0857-32-9077



相続、遺言、事業承継、税金など、まずはご相談ください。



筑前化物絵巻(個人蔵)／鞍手町歴史民俗博物館寄託／人魚のミイラ(原野館至博物館蔵)／竹の素戔(木崎喜徳氏蔵)／
竹之忍(兵庫県立歴史博物館蔵) 高羽正徳コレクショニア／真島忍(兵庫県立歴史博物館蔵) 源田文庫／蛇骨(鳥取県立博物館蔵)

次回企画展「名和長年とその一族 一今につながる700年の軌跡」 2026年10月31日(土)~11月29日(日)